

エビフリモちゃんの「医療現場へ突撃インタビュー」

みどり市民病院 ハートチーム(循環器内科・心臓血管外科)の

佐伯 知昭先生・
山田 敏之先生に聞きました!!

心臓が悲鳴をあげるとき

狭心症・心筋梗塞のはなし

名古屋市立大学医学部附属
みどり市民病院
循環器内科 教授／部長

佐伯 知昭

[さえき・ともあき]

1988年名古屋市立大学医学部卒業、1993年名古屋市立大学大学院修了。博士(医学)。総合内科専門医、循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医。



Instagram

名古屋市立大学医学部附属
みどり市民病院
心臓血管外科 講師/部長代理

山田 敏之

[やまだ・としゆき]

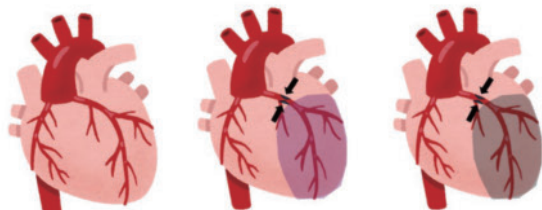
2009年名古屋市立大学医学部卒業、2018年慶應義塾大学大学院医学研究科卒業。博士(医学)、外科専門医、心臓血管外科専門医/修練指導者。

はじめに

私たちの心臓は、1日におよ10万回も休まず動き続け、酸素や栄養を全身に届けています。この動きは、心臓が自分で電気信号を出してコントロールしていて、まるで精密な機械のようです。けれど、ある日突然「助けて!」と悲鳴をあげることがあります。それが「狭心症」や「心筋梗塞」と呼ばれる病気です。今回は、これらの病気についてわかりやすく紹介します。

狭心症・心筋梗塞とは?

心臓は、自身の表面にある「冠動脈」という血管を通じて、自分自身(心筋)に酸素や栄養を届けています。この冠動脈が動脈硬化などで狭くなると、心臓への栄養が不足します。この栄養不足が軽い場合が「狭心症」です。安静にすると治まることも多いですが、胸の痛みや圧迫感が出ることもあります。さらに深刻になると栄養不足で心筋が死んでしまいます。これが「心筋梗塞」です。命に関わる状態で、強い胸の痛みが5～10分以上続き、冷や汗や息苦しさを伴うこともあります。



正常な心臓と冠動脈

冠動脈が狭くなったことにより心臓の筋肉が栄養不足になった状態→「狭心症」

冠動脈が狭くなったことにより心臓の筋肉が栄養不足が進み死んでしまう→「心筋梗塞」

原因

心筋梗塞や狭心症の主な原因は以下のようなものがあります。

①動脈硬化

血管が硬くなり、内側が狭くなってしまいます。高血圧、コレステロールの高い状態、糖尿病、喫煙などが関係します。

②年齢・性別

中高年の男性に多く、女性でも閉経後は注意が必要です。

③ストレスや過労

心臓に負担がかかり、発作のきっかけになることがあります。

④家族に心臓の病気がある場合

体質的にリスクが高くなる場合があります。

診断

胸の痛みを感じた場合は、心電図や血液検査、心臓超音波検査、冠動脈CTなどで調べるのが大切です。症状や検査の結果から、詳しい状態を判断します。狭心症/急性心筋梗塞が疑われるときは、すぐにカテーテル検査を行い、その場で治療に入ることもあります。



心臓超音波検査



CT検査

治療法

①お薬による治療

血液をサラサラにする薬、血圧やコレステロールを下げる薬などを使います。

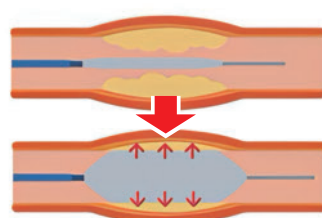
②カテーテル治療(PCI)

細い管を血管に通して、詰まったところを広げる治療です。

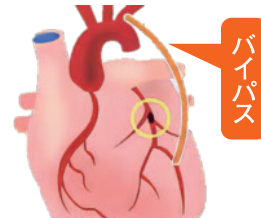
③冠動脈バイパス手術(CABG)

詰まっている部分を迂回して、新しい血の通り道を作る手術です。

急性心筋梗塞は「時間との勝負」です。胸の痛みが続いたら、迷わず119番で救急車を呼んでください。発作から6時間以内に治療を始め、病院に着いてから90分以内に詰まった血管を開くことが、命を守るポイントです。



カテーテル治療(PCI)



冠動脈バイパス手術(CABG)

予防

次のような生活習慣を心がけることで、発症のリスクを減らすことができます。

①血圧・血糖・コレステロールの管理 ②禁煙 ③バランスの良い食事(減塩・野菜・魚中心) ④適度な運動 ⑤年に一度は健康診断を受けましょう

おわりに

心臓は、時に何の前触れもなく悲鳴をあげることがあります。「まだ大丈夫」「少し様子を見よう」とはとても危険です。胸の痛みや違和感を感じたら、ためらわずに救急車を呼んでください。正しい知識と早めの行動で、あなたや大切な人の命を守ることができます。

Information

予防医学が紡ぐ
幸せな健康未来
～みどり市民病院の挑戦～

人生100年時代、自分自身はもちろん、大切な家族の健康を守る予防医療。大切な人の【小さな異変に気付く】【ちょっと生活習慣を見直す】きっかけを見つけてみませんか。

